

# 「きずな」が変わります。

## 新しい部落史観をもとに全教材を加筆・修正 ～ 高校版 ～

熊本県人権教育研究協議会が編集、発行しております人権教育読本「きずな」も前回改訂（2007年）から13年が過ぎました。「新しい部落史の視点で作られた、事実と実践に基づく生きた教材を！」という思いから、これまでの全教材を全て見直し、改訂を行いました。また、8つの新たな教材も盛り込んでいます。

① **教科書から「士農工商」が消えた！**  
—新しい部落史をすべての人々に—

② **地団駄踏んで、今学ぶ**  
—56歳で高校入学—

③ **就職差別を許さないために**  
**「言わない・書かない・提出しない」取り組み**



④ **今、海が好き、水俣が好き**

⑤ **「自分らしくいていいのだ」【多様な性】**

大幅改訂:「赤き黄土—地平からの告発 来民開拓団の真相に学ぶ」

改訂復刻:「ホームルームとは何か」



# 自主活動

- ① 部落に生まれ、部落に生きる
- ② 水俣と部落
- ③ 俺あ、部落民たい
- ④ 「俺あ、部落民たい」と出会う【新】
- ⑤ なかまとともに
- ⑥ 明日はいい日になる
- ⑦ ホームルームとは何か【新】

# 部落問題学習

- ⑩ 初雪のころ
- ⑪ いつまで差別から逃げよっとかい
- ⑫ 俺たちん仕事は命ばもらいよっとぞ
- ⑬ 赤き黄土ー地平からの告発 来民開拓団の真相に学ぶ【改訂】
- ⑳ 教科書から「土農工商」が消えた！【新】

# 新教材紹介

# 学ぶ

- ⑧ 胸張って生きていけ
- ⑨ 地団駄踏んで、今学ぶ【新】

# 進路保障

- ⑭ あの時踏ん張っていてよかった
- ⑮ 先生、不合格と言われてからが始まりよ
- ⑯ みちをひらく
- ⑰ 就職差別を許さないために  
「言わない・書かない・提出しない」取り組み【新】

# くらし・家族・いのち

- ⑱ 私の家族【新】
- ⑲ 死ぬ苦しみ、生きる苦しみのはざま
- ⑳ 父との往復書簡
- ㉑ 人との出会いを通して「自分」であることを喜びに
- ㉒ 今、海が好き、水俣が好き【新】
- ㉓ ハンセン病差別を生きる
- ㉔ チョゴリを着た卒業式【新】
- ㉕ 自分らしくいていいのだ【新】

教材名	主な内容やねらい
地団駄踏んで、 今学ぶ 【学ぶ】	自分が高校に行けなかったので、子どもたちには行きたい学校にどこまでも行かせてやりたい、そんな思いで頑張ってきました。娘も学校を出て働きはじめ、私は仕事をやめました。「何か自分に学べることはないのか？ 息子も大学に行くに決め帰ってきたんだ。だったら自分も学校に行こう」私は56歳で定時制に入学しました。
今、海が好き、水俣が好き 【くらし・家族・いのち】	杉本栄子さんの家族は、母親の水俣病発症をきっかけに、周りの人たちから差別を受けられるようになった。家族を守るために、周りの人たちと争うことをせず、その厳しい状況を受け入れ、それでもなお水俣を愛した父親の姿を見て育ち、栄子さんは多くの人たちに水俣や水俣病について正しく知り、幸せや家族について考えて貰いたいと願っている。
「自分らしくいていいのだ」 【くらし・家族・いのち】	自分の性への違和感から殻に閉じこもっていた曾方さんを出会いが変える。家族にカムフラウト。そして祖母の「あの子に変わりはない」という言葉に救われた気持ちになる。「自分らしくいていいのだ」という曾方さんの生き方が私たちに問う。
就職差別を許さないために「言わない・書かない・提出しない」取り組み 【進路保障】	「統一応募用紙」に込められた「本人の能力や適性以外で選ばないでくれ」「あくまで本人自身を」という願いをみんなで受け継ぎ、差別からみんなを守るために「言わない・書かない・提出しない」取り組みを続けていく大切さを学ぶ。 【マンガ教材】
教科書から土農工商が消えた！ 【部落史】	これまで教えられ、教えてきた部落に対する見方やとらえ方は、大きな間違いであった。そのため、教科書も大きく変わった。しかし、間違った見方やとらえ方は、広く社会にいき渡っている。それをただすのは教育以外にない。そのために、本教材を設定した。